
【NITEケミマガ】NITE化学物質管理関連情報 第154号

2013/07/17配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

なお、本メールマガジンは平成25年度独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務として、みずほ情報総研株式会社に記事作成を委託しております。

ご連絡先： chem-manage@nite.go.jp

----- 7/10～7/17までの更新情報 -----

●製品評価技術基盤機構(NITE)

【2013/07/01】

・非常勤職員募集のページを更新しました。

→ http://www.nite.go.jp/gen/saiyou_b1.html

非常勤職員募集のお知らせを掲載しています。

●厚生労働省

【2013/07/09】

・マーケットバスケット方式による年齢層別食品添加物の一日摂取量の調査(平成24年度)

→ [http://www.ffcr.or.jp/zaidan/FFCRHOME.nsf/pages/PDF/\\$FILE/DI-studyH24.pdf](http://www.ffcr.or.jp/zaidan/FFCRHOME.nsf/pages/PDF/$FILE/DI-studyH24.pdf)

標記調査結果が掲載された。平成24年度の調査対象は、保存料(10種類)及び着色料(14種類)。

【2013/07/09】

・3-アセチル-2,5-ジメチルチオフェンの取扱いについて(平成25年6月25日食安基発0625第1号,食安監発0625第1号)

→ http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuten/dl/130625-01.pdf

標記通知が掲載された。

【2013/07/09】

・第68回労働政策審議会安全衛生分科会 議事録

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000036amr.html>

平成24年12月21日に開催された標記会合の議事録が掲載された。議題は、
(1)労働災害防止団体法施行規則等の一部を改正する省令案要綱について
(諮問)
(2)第12次労働災害防止計画の本文案について
(3)新規化学物質の有害性の調査結果について(報告)
(4)印刷事業場における胆管がんに係る対応について
など。

【2013/07/09】

・化審法第一種特定化学物質への指定に係る化学物質調査会の審議結果について

→ http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/topics/tp130709-01.html

標記お知らせが掲載された。

【2013/07/10】

・「労働基準法施行規則の一部を改正する省令案要綱」の労働政策審議会に対する諮問について～労基則に定める「業務上の疾病」を追加～

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000004f5x.html>

標記お知らせが掲載された。労働基準法施行規則別表第1の2に以下の疾病を追加することについて、労働政策審議会に諮問するもの。

- (1)テレピン油にさらされる業務による皮膚疾患
- (2)ベリリウムにさらされる業務による肺がん
- (3)1,2-ジクロロプロパンにさらされる業務による胆管がん
- (4)ジクロロメタンにさらされる業務による胆管がん

【2013/07/10】

・第52回労働政策審議会労働条件分科会労災保険部会 配布資料

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000036d4z.html>

7月10日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、
(1)労働者災害補償保険法施行規則及び労働保険の保険料の徴収等に関する法律施行規則の一部を改正する省令案要綱等について(諮問)
(2)労働基準法施行規則の一部を改正する省令案要綱等について(諮問)

(3) 社会復帰促進等事業に係る平成24年度成果目標の実績評価及び平成25年度成果目標について

など。議題(2)で、1,2-ジクロロプロパンやジクロロメタンによる胆管がんを労働基準法施行規則別表第1の2に追加すること等が議論されている。

【2013/07/10】

・平成25年度のカネミ油症に係る検診の実施について

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002fk3i.html>

標記お知らせが掲載された。厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究」の一環として毎年1回行われるもの。

【2013/07/11】

・「第17回シックハウス(室内空気汚染)問題に関する検討会」を開催します

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000036hrx.html>

8月1日に標記会合が開催される。議題は、

(1) 関係省庁、関係団体等のシックハウスに係る取組説明・ヒアリング

(2) 指針値の見直しの仕方について

など。

【2013/07/12】

・第2回化学物質のリスク評価に係る企画検討会の開催について

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000036dfk.html>

7月22日に標記会合が開催される。議題は、有害物ばく露作業報告対象物質の選定について、など。

●環境省

【2013/07/08】

・中央環境審議会大気・騒音振動部会(第1回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=16878>

7月12日に標記会合が開催された。議題は、

(1) 中央環境審議会大気・騒音振動部会の専門委員会及び小委員会の設置

等について

(2) 環境基本計画の点検について

(3) 報告事項(最近の大気環境行政における動向について)

など。

【2013/07/09】

・中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会(第35回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=16884>

7月24日に標記会合が開催される。議題は、

(1) 水産動植物被害防止に係る農薬登録保留基準として環境大臣の定める基準の設定について

(2) 水質汚濁に係る農薬登録保留基準として環境大臣の定める基準の設定について

など。

●農林水産省

【2013/06/20】

・食品安全に関するリスクプロファイルシート(検討会用):フラン

→ http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/pdf/130620_furan.pdf

標記資料が掲載された。フランは、調理・加工などで生成するものうち、優先的にリスク管理を実施する必要がある危害要因として挙げられている。

【2013/07/09】

・食品安全に関するリスクプロファイルシート(検討会用):ダイオキシン類

→ http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/pdf/130709_dioxin.pdf

標記資料が掲載された。ダイオキシン類は、環境中に存在するものうち、優先的にリスク管理を実施する必要がある危害要因として挙げられている。

●内閣府食品安全委員会

【2013/07/09】

・特定農薬に係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての意見・情報の募集について

・電解次亜塩素酸水

→ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc6_nouyaku_hocl_250709.html

・焼酎

→ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc5_nouyaku_shochu_250709.html

・エチレン

→ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc4_nouyaku_ethylen_250709.html

7月9日から8月7日にかけて、標記の意見募集が行われている。

【2013/07/09】

・対象外物質(アザジラクチン)に係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての意見・情報の募集について

→ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc3_nouyaku_azadirac_250709.html

7月9日から8月7日にかけて、標記の意見募集が行われている。

【2013/07/09】

・農薬に係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての意見・情報の募集について

・ピリミジフェン

→ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc2_nouyaku_pyrimidi_250709.html

・シアントラニリプロール

→ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_nouyaku_cyantranil_250709.html

7月9日から8月7日にかけて、標記の意見募集が行われている。

【2013/07/11】

・食品安全委員会が自ら行う安全性に関するリスク評価の対象案件候補の募集について

→ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_risk_mizukara_2507.html

7月11日から8月9日にかけて、標記の意見募集が行われている。

【2013/07/11】

・PEN News Letterを掲載しました。

→

<http://pengin.ne.jp/index.php/ja/mobile-main-menu/pen-back-number/finish/1-pen-issues/688-pen-2013-july-vol-4-no-4.html>

国内外におけるナノテクノロジー管理情報及び動向をまとめたPEN News Letter (2013年7月号)が掲載された。

●国立医薬品食品衛生研究所

【2013/07/10】

・食品安全情報(化学物質) No. 14 (2013. 07. 10)

→ <http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2013/foodinfo201314c.pdf>

標記資料が掲載された。食品の安全性に関する国際機関や各国公的機関等の最新情報が紹介されている。

●農林水産消費安全技術センター (FAMIC)

【2013/07/11】

・[メールマガジン]バックナンバーに第492号を掲載しました。

→ http://www.famic.go.jp/mail_magazine/backnumbers/No492.htm

標記資料が掲載された。

【2013/07/12】

・農薬登録情報ダウンロードを更新しました。

→ <http://www.acis.famic.go.jp/ddownload/index.htm>

標記情報が更新された。

●中小企業基盤整備機構

【2013/07/12】

・[J-Net21]REACH Q. 392:REACH規則施行前の新規化学物質について

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/qa/392.html>

標記Q&Aが掲載された。

【2013/07/12】

- ・ [J-Net21]REACH コラム:デンマーク特定フタル酸エステルの制限規則の施行延期

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/column/130712.html>

標記コラムが掲載された。

【2013/07/12】

- ・ [J-Net21]RoHS Q.382:改正RoHS指令では接続コードにもCEマーク対応が必要か

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/rohs/qa/382.html>

標記Q&Aが掲載された。

●海外環境協力センター

【2013/07/09】

- ・ 中国環境情報6月号を掲載しました。

→ <http://www.oecc.or.jp/contents/china/china1306.html>

標記資料が掲載された。内容は、中国政府(国務院、環境保護部)の環境政策の動き、地方(地方政府等)の環境情報、など。

●経済協力開発機構(OECD)

【2013/07/11】

- ・ Predicting aquatic/genetic toxicity with the QSAR Toolbox

- ・ Strategies for grouping chemicals to fill data gaps to assess acute aquatic toxicity endpoints

→ <http://www.oecd.org/env/ehs/risk-assessment/Acute%20aquatic%20toxicity.pdf>

- ・ Strategies for grouping chemicals to fill data gaps to assess genetic toxicity and genotoxic carcinogenicity

→ <http://www.oecd.org/env/ehs/risk-assessment/genetic%20toxicity.pdf>

OECDは、QSAR Toolbox 3.1に対応したマニュアルver.1.1(生態毒性版及

び遺伝毒性・発がん性版)を公表した。

【2013/07/12】

• Seven new publications in the Series on Testing and Assessment

• No. 185: Guidance Document For Exposure Assessment Based On Environmental Monitoring Data
→

[http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono\(2013\)7&doclanguage=en](http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono(2013)7&doclanguage=en)

• No. 186: Guidance Document on the Testing of Efficacy of Baits, for Indoor Use, Against Garden Ants
→

[http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=ENV/JM/MONO\(2013\)16&doclanguage=en](http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=ENV/JM/MONO(2013)16&doclanguage=en)

• No. 187: Guidance Document on Quantitative Methods for Evaluating the Activity of Microbicides Used on Hard Non-Porous Surfaces
→

[http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono\(2013\)11&doclanguage=en](http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono(2013)11&doclanguage=en)

• No. 188: Streamlined Summary Document Supporting OECD Test Guideline 438 on the Isolated Chicken Eye for Eye Irritation/Corrosion (Part 1)
→

[http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono\(2013\)12/Part1&doclanguage=en](http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono(2013)12/Part1&doclanguage=en)

• No. 188: Streamlined Summary Document Supporting OECD Test Guideline 438 on the Isolated Chicken Eye for Eye Irritation/Corrosion (Part 2)
→

[http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono\(2013\)12/Part2&doclanguage=en](http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono(2013)12/Part2&doclanguage=en)

• No. 189: Streamlined Summary Document Supporting OECD Guideline 437 on the Bovine Corneal Opacity and Permeability for Eye Irritation/Corrosion
→

[http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono\(2013\)13&doclanguage=en](http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono(2013)13&doclanguage=en)

• No. 190: Summary Document on the Statistical Performance of Methods in OECD Test Guideline 431 for Sub-Categorisation
→

[http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=ENV/JM/MONO\(2013\)14&doclanguage=en](http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=ENV/JM/MONO(2013)14&doclanguage=en)

• No. 191: Validation Report of a Ring Test for the OECD 305 Dietary Exposure Bioaccumulation Fish Test, Additional Report Including Results Using a Lower Feeding Rate
→

[http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=ENV/JM/MONO\(2013\)15&doclanguage=en](http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=ENV/JM/MONO(2013)15&doclanguage=en)

OECDは、次の7つの報告書をPublicationページに掲載した。

• No. 185: モニタリングデータを用いた暴露評価に関するガイダンス文書

- ・ No. 186:庭アリの室内用駆除剤の性能評価に関するガイダンス文書
- ・ No. 187:通気性の低い製品表面上で使用される殺菌剤の活性度の定量的評価に関するガイダンス文書
- ・ No. 188:眼腐食性及び強度刺激性物質の同定にニワトリの眼球を用いる試験法に関するサマリー文書
- ・ No. 189:眼腐食性及び強度刺激性物質の同定にウシの角膜を用いる混濁度及び透過性試験法に関するサマリー文書
- ・ No. 190: TG431 (in vitro皮膚腐食性: ヒト皮膚モデル試験) で用いる推計手法の統計的性能の検証結果に関するサマリー文書
- ・ No. 191: 低接食率を用いた場合の TG305 (生物濃縮 (流水) 試験) の検証結果に関する追加文書

● 欧州化学品庁 (ECHA)

【2013/07/05】

- ・ Commenting on decabromodiphenyl ether (decaBDE) is discontinued

→ <http://echa.europa.eu/documents/10162/eaal1b117-d017-4446-bb3b-5497bd1c478a>

ECHAは、難燃剤デカブロモジフェニルエーテルをREACH規則の認可 (Authorisation) ではなく制限 (Restriction) プロセスで規制するため、既に開始していた認可 (Authorisation) の第5次パブリックコンサルテーションから当該物質を取り下げることを発表した。

● 欧州化学物質生態毒性・毒性センター (ECETOC)

【2013/07/11】

- ・ WHO launches new Chemical Risk Assessment Network

→

<http://www.ecetoc.org/index.php?mact=Newsroom,cntnt01,details,0&cntnt01documentid=223&cntnt01returnid=76>

ECETOCは、WHOが化学物質リスク評価ネットワークを新設したことを発表した。化学物質の管理に関する専門知識を共有し、リスク評価とリスク管理を世界各国に広めることを目的とするもの。

● 環境展望台：国立環境研究所

【2013/07/11】

- ・ アフリカ28カ国、有害化学物質の安全管理へのロードマップ案を策定

→ <http://tenbou.nies.go.jp/news/fnews/detail.php?i=11409>

国連環境計画(UNEP)は7月4日、アフリカ28カ国が化学物質のライフサイクルにわたる安全管理を強化するためのロードマップ案を策定したことを発表した。

●EICネット：環境情報センター

【2013/07/12】

・EU 2011年は多くの大気汚染物質が排出上限値を下回る結果に

→ <http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=30418&oversea=1>

欧州環境庁は6月26日、「長距離越境大気汚染(LRTAP)条約に基づくEU排出インベントリ年次報告書1990～2011」を公表した。

【2013/07/16】

・アメリカ環境保護庁、冷媒代替物質としてのプロパン等の火災・爆発の危険を警告

→ <http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=30473&oversea=1>

米国EPAは7月1日、用途によっては冷媒代替物質の火災・爆発のリスクが発現するとして、プロパンガス等を一般家庭用エアコンに使用しないよう、プロパンガス製造・販売者、リフォーム業者、エアコン取り付け業者等に警告したことを発表した。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

●【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

●配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

●配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして配信停止手続をしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

●ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

・【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする場合に限り、自由に行って頂いて構いません。

- ・組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまでお問い合わせください。

→ chem-manage@nite.go.jp

- ・発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター
- ・記事作成元：みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第1部 環境リスクチーム